

1. 研究課題名

当院での下部直腸癌に対する TNT の検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本邦におけるT3以深またはN(+)の下部直腸癌に対する標準治療は直腸間膜全切除術(TME)または腫瘍特異的直腸間膜切除術(TSME)と側方郭清である。局所再発リスクが高い症例には術前化学放射線療法(CRT)が強く推奨されているが、現時点で術前完全集学治療(TNT)は推奨されていない。一方、海外のランダム化試験では術前化学放射線療法(CRT)と比較して術前完全集学治療(TNT)を施行することによる病理学的完全奏効(pCR)率の向上も報告されており、その有益性については検証の余地がある。本研究にて、当院での術前完全集学治療(TNT)施行例の治療成績から術前完全集学治療(TNT)の妥当性を把握することを目的としています。

研究期間は承認日から2028年12月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2014年10月から2026年4月までに当院で治療を行ったRb直腸癌のうち術前にT3以深またはN(+)と診断された方の診療記録から得られた情報を利用して行います。診療記録の場合：利用する情報は、年齢、性別、手術術式、手術時間、術後在院日数、術後の予後などを検討いたします。個人が特定されない形で解析されるので、個人が特定されることはありません。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 大腸肛門外科 豊島 明(研究責任者)

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：大腸肛門外科 豊島 明